

教科名		音楽	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	教育出版	教育芸術社
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・低学年の楽譜の表記に工夫がある。また、共通事項が明示されている。	・低学年の楽譜の表記が簡潔で、実際の楽譜につなげるようにしている。共通事項が全ての教材に明示されている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・ほとんどの教材に学習のめあてと学び方を示唆する「まなびナビ」が示されている。	・全ての教材に学習のめあてが示されている。また、学び方へのアドバイスがある。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・巻末に資料がまとめられている。	・巻末に活用できる資料がまとめられている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・自国の文化としての音楽や世界の多様な音楽を教材として扱っている。	・世界の多様な音楽文化を扱うとともに、自国の音楽文化を大切にしている心情や、社会と音楽の関わりを促す教材が設定されている。
B 使用上の 便宜 について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・教材ごとに学び方が示されている。また、発展的な学習も示されている。	・キャラクターやマーク等を設定し、学習を意欲的に進める工夫がされている。また、過去の学習を振り返って、学びを深める学習活動になっている。
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・生活や社会と音楽との関わりに関心をもたせる題材が第2学年以上で設定されている。	・社会の一員として必要な資質・能力として、音楽を通じてより良い人間関係をつくるという視点の題材が、各学年に設定されている。